



Model : JF-401Z series

BALL JOINT REMOVER

ボールジョイントリムーバー

- 直押しタイプの強力型！！
- インパクトレンチ対応！！

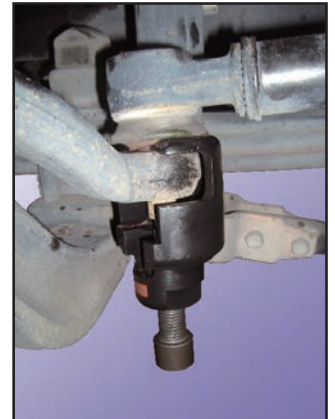
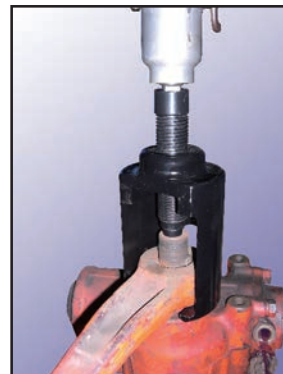
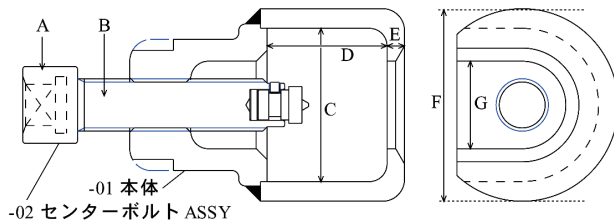
タイロッドエンド、ドラックリンク、ロアアーム（一部スペースのある車種のみ）などのボールジョイントおよびピットマンアームなどが、インパクトレンチを使用してスムーズに抜き取りできます。

適用

- JF-401ZS 軽自動車～リッタークラス乗用車のタイロッドエンドなど
- JF-401ZM 乗用車～4t車のタイロッドエンド、ロアアーム、ドラックリンクなど
- JF-401ZF 4t車ドラックリンクなど
- JF-401ZL 4t車～大型車のタイロッドエンド、ドラックリンクなど
- JF-401ZR エルフのロアボールジョイント、リレーロッドなど
- JF-401ZV 4t車ピットマンアームなど
- JF-401ZX 大型トラックピットマンアームなど

適合車種

本ツールは汎用品ですので、「どの車種のどの部分に適合する。」という対応表は用意いたしておりません。上記の各部サイズ表を参照いただき、作業箇所の寸法と比較確認を行ってください。



各部寸法

	JF-401ZS	JF-401ZM	JF-401ZF	JF-401ZL	JF-401ZR	JF-401ZV	JF-401ZX
A	19mm/hex	19mm/hex	19mm/hex	19mm/sq	19mm/sq	19mm/sq	19mm/sq
B	Tr18 × P2	Tr22 × P3	Tr22 × P3	Tr24 × P3	Tr24 × P3	Tr35 × P4	Tr35 × P4
C	50mm	56mm	63mm	78mm	78mm	87.5mm	101mm
D	47mm	55mm	65mm	67mm	67mm	66mm	125mm
E	5mm	6mm	6mm	8.5mm	8.5mm	9mm	9.5mm
F	62mm	70mm	78mm	98mm	98mm	110mm	130mm
G	23mm	30mm	35mm	40mm	40mm	48mm	65mm



◆◆◆◆ 使用方法・取扱上の注意事項 ◆◆◆◆

- ▲ 相手ジョイント部サイズが、ツールサイズと適合しているか十分に確認してください。不適合サイズを無理に使用するとツールまたは相手部品を傷めます。車種によっては、スペースおよびサイズの的に使用できないものがあります。
- ▲ センターボルトのネジ部および先端スラスト部には、モリブデングリスなどを切らずに塗布してください。また、センターボルトは消耗品です。ネジ部がやせてきたり、ドライブ角が傷んだ時は、補修部品と交換してください。
- ▲ ボールジョイント分離の瞬間は、非常に強い勢いで抜け落ちます。必ずロックナットを、4～5山ネジ込んでおいたり、ロープで吊るなどの対処を行ってください。また、安全ゴーグルなどの防護具を着用してください。
- ▲ 固くて動かない時は、本体のぞき窓からアーム外周に、ダブルハンマーでショックを与えてください。
- ▲ JF-401ZM 以外は、センターボルトにハンマーを使用しないでください。

※各シリーズ共通の使用方法、車種は問いません。(使用方法は同じです。)



①一度取り外した相手ジョイントのロックナットを手でナット面になるまでネジ込みます。

▲ボールジョイント分解の瞬間は、非常に強い勢いで抜け落ちます。

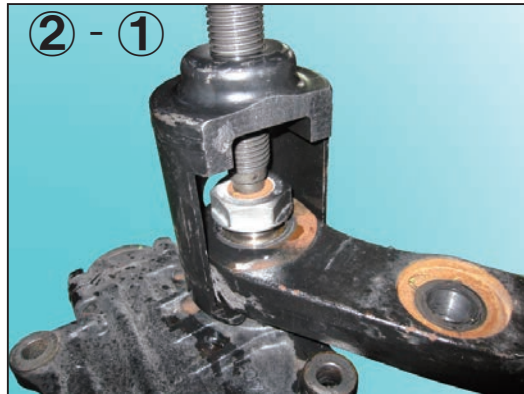
▲必ず安全ゴーグルなどの防護用具を着用してください。



②工具本体をしっかりとお奥まで入れて、センターボルトを手でネジ込み、相手ジョイントのシャフトのセンターに工具のセンターボルトが当てるまで手でネジ込みます。

(工具のセンターボルトがシャフトのセンターに当たっているか再確認し、垂直に押せるか十分セッティング状態を確認してください。)

▲この段取り作業は手で必ず行い、インパクトレンチ等は、作業しないでください。(工具は破損の恐れがあります。)



③インパクトレンチをセットして低圧で数秒(2～3秒程度)作業してください。

▲この時にボールジョイントが抜けなくても再度インパクトレンチで作業しないでください。

▲無理にインパクトレンチで締め込むと工具が破損します。



④本体裏側に有る、のぞき窓からアーム外周に、ハンマーを当て、別のハンマーで叩きショックを与えてください。(ダブルハンマー根切り作業)



⑤再度インパクトレンチをセットして低圧で数秒(2～3秒程度)作業を行うとボールジョイントが抜けます。

▲固着が激しい場合等は、この時にボールジョイントが抜けない時がありますが、再度③と④の作業を繰り返し行ってください。

▲無理にインパクトレンチで締め込むと工具が破損し、クレーム対象外となります。

